

【File No. 16 | 大船神社本殿 おおぶねじんじゃほんでん】



壮麗な彫刻の施された本殿

大船神社の歴史は古く、「大船神社由緒書」によると769(神護慶雲3)年に東大寺の僧良弁が、この地に庵を結んだとされている。標高約1,000mにある神社である。

910(延喜10)年に大船寺とし、その後、戦で焼失したが、江戸時代の初めに修験僧の明実により再建され、1685(貞享2)年に完成したとされる。今の本殿は1856(安政3)年に再建されたものである。

この本殿の特徴は、壮麗な立川流による彫刻。立川流は、建築彫刻で全国的にも有名で、長野県の諏訪大社上社社殿(国重要文化財)も手掛けている。

本殿は、風雨から保護するための覆屋の中に鎮座しており、天空に建つ神社として今も往時の様子をよく残し、静かな大船山で市民の暮らしを見守っている。

ひとロメモ

本殿は、ことしの6月27日に市指定文化財となった。また彫刻は、昭和37年に県重要文化財に指定されている。獅子や象、雲や波など躍動感ある彫刻がデザインされている。本殿は覆屋の中にあり、格子戸の外から見学することができる。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影地：岩村町飯羽間)

岩村町 中田ゆう子さん



のどかな田園風景とはるか遠くの霧の上に三つ盛りの山、三森山があり、自然や人手、歴史がたくさん詰まった景観です。



農村のメインストリート

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募くだ
さい!

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は
9月15日号
発行日は
9月12日(金)です



広報えな No.227

2014年(平成26年)
9月1日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』9月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約10.0円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

